

公益財団法人京都伝統産業交流センター

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 渡邊隆夫

2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1 京都市勸業館内

3 電話番号

075-762-2670

4 ホームページアドレス

<http://kmtc.jp> (京都伝統産業ふれあい館)

5 設立年月日

昭和52年3月29日

6 基本財産

11,000千円 (うち本市出せん額 5,000千円, 出せん率 45.5%)

7 事業目的

伝統産業の啓発及び振興に関する事業を行い、地域経済の発展と生活文化の向上に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 京都市勸業館常設展示場の展示事業
- (2) 伝統産業に関する振興及び啓発事業
- (3) 伝統産業製品の提供事業

9 所管部局

産業観光局商工部伝統産業課 (TEL075-222-3337)

10 役員名等

(1) 理事長

渡邊隆夫

(2) 副理事長

池田佳隆

(3) 専務理事

八田誠治

(4) 理事

田中雅一, 森俊次, 佐藤敬二, 古川貴士, 三原陽市郎, 波部美利, 林史己, 谷村紗恵子, 伊藤圭一, 安河内博 (産業観光局商工部長)

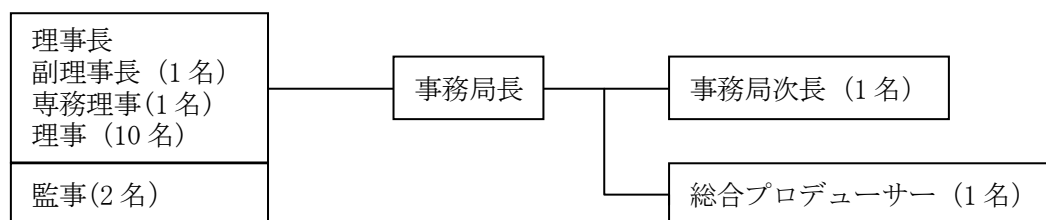
(5) 監事

大西英生, 藤井正昭

11 常勤職員数

6人 (うち本市派遣職員2人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成28年度決算

(1) 事業報告

ア 常設展示場

展示内容の魅力向上及び来館者へのサービス向上のための取組を実施した。

(ア) 学校やグループ、外国人観光ツアー団体などに対して、見学に合わせて説明を行った。
(131団体/4,418人)

(イ) 業界団体の協力を得て、四季折々の魅力ある展示替えを実施した。
(102回/658点)

(ウ) 特別ガイドツアー 平成28年8月27日、11月13日

(エ) 「京の七夕」や「岡崎ときあかり」事業との連携により、夜の岡崎の盛上げとPRを行った。

イ イベントルーム

当財団主催の企画展や関連業界団体との共催事業、常設展示との相乗効果が期待できる展示会、体験教室などを実施した。(38事業)

ウ ギャラリー

業界団体の協力により、「京表具展」や「西陣金襴展」などの企画展示を年間を通して6回実施した。

エ 企画展・催事

ふれあい館を知らない方々にもPRすることを目的として、新たな事業を実施した。

(ア) 企画展「手仕事を支える道具たち」 平成28年7月1日～8月31日

(イ) 企画展「京もので楽しむ紅葉狩り」 平成28年11月1日～12月11日

(ウ) 京都国際映画祭への協力(職人ワークショップ) 平成28年10月15日、16日

オ 多言語化対応

富士通株式会社、株式会社ピープルソフトウェアの協力のもと、音声ガイドの実証実験を実施した。

カ 体験事業

伝統技法に則り、世界に一つしかない作品が制作できる体験事業を実施した。摺型友禅染体験について、平日・土曜日・祝日は、予約制により修学旅行生や団体を中心に受け入れ、日曜日は、家族連れや少人数グループを予約不要で随時受け入れたほか、要望に応じて予約制で他の体験についても個別調整のうえ受け入れた。

また、京都マンガアニメフェア(「京まふ」)・京都市交通局と連携し、地下鉄・市バス応援キャラクターの型を使った摺型友禅染体験を実施したほか、「伝統産業の日」の取組の一環として「映画プリキュアドリームスターズ!」との連携企画で、登場キャラクターを摺型友禅で染め付ける体験教室を開催した。

平成28年度 3,045件 3,704,120円

キ 「匠と舞」事業

(ア) 常設展示場内での職人による制作実演

常設展示場内において、伝統工芸品の制作実演販売を行い、職人とのコミュニケーションを図ることにより、来館者に伝統工芸品の奥深さを知っていただいた。

平成28年度 延べ613人の職人実演

(イ) 職人派遣

国際会議やホテルの催事、観光フェア、観光案内所等の要望を受けて職人を派遣し、実演販売を行った。

平成28年度 22イベントに延べ63人の職人を派遣

(ウ) 芸妓・舞妓舞台

常設展示場内に舞台を設け、歩く伝統産業ともいえる舞妓による舞披露とその衣装や装飾品に使われている伝統工芸品についての解説を月1回実施した。また、さらなる集客増を目

指し、平成 28 年 10 月からは舞妓舞台に加えて芸妓舞台も月 1 回実施した。

ク 広報広聴事業

(ア) 広報宣伝活動

a 費用対効果の高い広報手段の活用

- (a) SNS (Facebook, Twitter, Instagram) や口コミサイト (Tripadvisor) への投稿
- (b) 観光案内所やホテル、タクシー会社等への情報提供 (ニューズレター送信, パンフレット配架, 工芸品展示や職人実演の協力, 研修実施等)
- (c) 国内外メディア取材への積極的な対応

b 岡崎地域活性化の取組との連携

- (a) ロームシアターや観光案内所, 岡崎コンシェルジュ PR サイトへの情報提供とパンフレット配架等の相互協力
- (b) 岡崎で開催されるイベント (京都マラソン, 岡崎ハレ舞台等) への協力

c その他の取組

JR 西日本が平成 28 年 9 月にオープンした京都駅地下東口改札付近の「おみやげ街道×京都伝統産業ふれあい館」において、ふれあい館の情報提供や展示物の貸し出し等を行い、京都の伝統産業の PR を行った。

(イ) 広聴活動

より魅力あふれるふれあい館を目指して平成 27 年 11 月から開始した来館者アンケートを継続して実施し、満足度や入館料の有料化に対する意見を収集した。

ケ 工房訪問

京都を訪れる方々により深く伝統産業の魅力を知っていただき、伝統産業製品の購入につながる取組として平成 28 年度から本格実施している。訪問を希望するグループや個人と工房とをふれあい館がマッチングする仕組みで、ウェブサイトやオンライン旅行会社等から申し込みを受け付けている。

平成 28 年度利用人数 485 人 (うち外国人 208 人)

コ 提供事業

(ア) オンラインショップ、法人向け記念品等

平成 24 年 3 月からオンラインショップ「京もの専門店『みやび』」の運営を行っている。

平成 28 年度はオンラインショップの個人向け販売において堅調な状況を保ちつつ、法人向けの販売が非常に好調であった。これは京都で開催される会議参加者向けのコンgresバッグが好評で、参加者が持ち歩いているのを見た他の学会事務局からも発注や引き合いが来るなど、好循環を呼んだことが主な要因である。

平成 28 年度売上金額 37,878,074 円 (平成 27 年度売上金額 19,232,862 円)

(イ) 常設展示場での販売

常設展示場では、各組合の協力のもと販売可能な作品の展示を増やしている。平成 27 年度からはカード利用可能なことを展示場の随所に明記するなどの工夫を講じており、徐々に売上が伸びている。

平成 28 年度売上金額 2,193,336 円 (平成 27 年度売上金額 1,838,475 円)

サ その他の事業

(ア) ふれあい館サロン

職人と他業種との交流会を実施した。ゲストによる発表の後の質疑応答や懇親会の場でビジネスに関する活発な議論が行われ、具体的に新たな商品開発につながるなど、参加した職人・ゲストの双方から好評であった。

開催日 平成 28 年 8 月 24 日, 9 月 23 日, 10 月 28 日, 11 月 22 日, 12 月 20 日,
平成 29 年 1 月 12 日, 2 月 13 日, 3 月 23 日

計 8 回

参加した職人数 延べ 110 人

(イ) 事務局業務の受託

KYO-MONO is COOL!プロジェクト実行委員会については平成27年度途中から、京都伝統産業青年会については平成28年7月から事務局業務を受託し、ふれあい館が各団体のミーティングの場としても活用されている。

また、京都市産業技術研究所が永楽屋において平成27年度から取り組んでいる若手作家作品の展示販売についても、ふれあい館が事務を受託するとともにインターネットでの作品の販売も始めた。

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	28,152	12,724	15,428
未収金	3,665	5,470	△1,805
前払金	2	0	2
立替金	15	287	△272
前払費用	460	0	460
流動資産合計	[32,293]	[18,481]	[13,812]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	11,000	11,000	0
基本財産合計	(11,000)	(11,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	1,085	539	547
賞与積立資産	1,032	0	1,032
特定資産合計	(2,117)	(539)	(1,578)
(その他固定資産)			
出資金	5,000	5,000	0
什器備品	1,094	1,293	△199
電話加入権	80	80	0
ソフトウェア	255	0	255
図書	8	8	0
その他固定資産合計	(6,436)	(6,380)	(56)
固定資産合計	[19,553]	[17,919]	[1,634]
資産合計	51,846	36,400	15,446
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,300	4,909	4,391
賞与引当金	1,032	0	1,032
預り金	4,540	960	3,580
仮受金	1,202	0	1,202
未払法人税等	70	70	0
未払消費税等	1,590	2,475	△885
流動負債合計	[17,734]	[8,415]	[9,319]
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,085	539	547
固定負債合計	[1,085]	[539]	[547]
負債合計	18,819	8,953	9,866
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	5,000	5,000	0
指定正味財産合計	[5,000]	[5,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(5,000)	(5,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[28,027]	[22,446]	[5,580]
(うち基本財産への充当額)	(6,000)	(6,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,085)	(539)	(547)
正味財産合計	33,027	27,446	5,580
負債及び正味財産合計	51,846	36,400	15,446

正味財産増減計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6	0	6
事業収益	16,304	8,223	8,081
受取補助金等	61,586	60,396	1,190
雑収益	825	492	333
経常収益計	78,720	69,110	9,610
(2) 経常費用			
事業費	65,670	38,427	27,243
管理費	7,470	18,192	△10,722
経常費用計	73,140	56,619	16,521
当期経常増減額	5,580	12,491	△6,911
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,580	12,491	△6,911
一般正味財産期首残高	22,446	9,955	12,491
一般正味財産期末残高	28,027	22,446	5,580
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III. 正味財産期末残高	33,027	27,446	5,580

2 平成29年度事業計画

(1) 事業計画の概要

平成29年度は総合プロデューサーを核に次の新規/充実事業を進める。併せて、従来の「常設展示事業」「振興・啓発事業」「提供事業」も刷新しつつ進める。

ア ふれあい館リニューアル設計【新規】

イ 大学との連携【新規】

ウ 工房訪問事業【充実】

エ ふれあい館サロン【充実】

オ 企画展【充実】

カ 京ものユースコンペ【充実】

(2) 予算

正味財産増減予算書
平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5	5	0
事業収益	8,500	8,000	500
受取補助金等	53,492	56,636	△3,144
雑収益	431	311	120
経常収益計	62,428	64,952	△2,524
(2) 経常費用			
事業費	50,204	47,506	2,698
管理費	12,224	17,446	△5,222
経常費用計	62,428	64,952	△2,524
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	26,946	16,955	9,991
一般正味財産期末残高	26,946	16,955	9,991
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III. 正味財産期末残高	31,946	21,955	9,991

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	62,832	69,110	78,720	62,428
	当期経常増減額	△5,305	12,491	5,580	0
	当期正味財産増減額	△5,305	12,491	5,580	0
貸借対照表	総資産	22,387	36,400	51,846	
	総負債	7,432	8,953	18,819	
	正味財産	14,955	27,446	33,027	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
委託料	京都伝統産業ふれあい館運営	27,000	27,000	25,000	
	京の「匠」ふれあい事業	4,000	4,000	3,950	
	隼より始めるプロジェクト	200	200		
	チーム「みやび」プロジェクト	7,000			
	オンラインショップの運営を通じた就職支援事業	12,050	3,950		
	京もの魅力発信販売促進キャンペーン	2,450			
	世界最大の手づくり魔鏡展示事業		100		
	琳派展事業		2,500		
	外国人観光客に対する伝統産業の魅力向上事業		4,075		
	ふれあい館活性化事業		10,000		
	二条通からの視認性向上のアーチ製作		1,269		
	京都伝統産業ふれあい館を核とした新たな伝統産業振興事業			22,600	
	「京ものユースコンペティション」に係る企画・運営業務			2,600	
	ふれあい館魅力向上策検討プロジェクト			2,000	
補助金	京都市伝統産業振興事業補助金		4,724	5,436	5,932

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none">学会や会議で配布する記念品の受注等の法人向け販売などの好調により、当期正味財産増減額が黒字となった点は非常に評価できる。
事業面	<ul style="list-style-type: none">当該財団が運営している「京都伝統産業ふれあい館」は京都の伝統産業 74 品目を体系的に理解できる普及・啓発施設として大きな役割を果たしてきたが、伝統産業製品の長期的な需要の低迷が続く中、同館には、普及・啓発に加え、業界の活性化につながる交流機能の強化や販売促進機能の充実が求められている。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none">積極的な販売促進に取り組み、2 期連続の当期正味財産増減額の黒字を実現できたことは評価できる。
事業面	<ul style="list-style-type: none">観光事業者等との連携や、各種展示会、イベント等の開催に積極的に取り組んでおり、伝統産業の普及・啓発の面では一定の成果が認められる。